

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市西山児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 16,145人(前年度比 114.9%) 令和3年度 14,053人 令和2年度 12,684人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 41,164千円 (30,969千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>令和4年度の年間利用者数は16,145名となった。新型コロナウイルス感染拡大防止対応の影響を受けながら、できる限りの業務遂行をすすめる1年となった。</p> <p>【児童健全育成】 小学生ボランティアグループ「ニシヤマセブン」は7名の新規登録があり、11名の構成員が1年間の活動にあたった。自然体験活動のジュニアボランティア活動を中心に、独自のサイクリング活動、自然体験トレーニングを行った。また、仙台市社会福祉協議会宮城野区事務所等と共同で、ユニバーサルスポーツ体験や防災シュミレーションゲームの普及活動を地域に向けて行うなど新しい取り組みにも挑戦することができた。</p> <p>【子育て家庭支援】 鶴・燕・西子育て支援ネットワーク活動では、共催乳幼児親子向け行事「子育て応援広場」を規模を縮小しながらも開催することができた。乳幼児親子の活動は館内飲食の代わりにおやつのお土産を行事の最後に渡すなどの工夫を行った。</p> <p>【地域交流推進】 3年ぶりに児童館運営懇談会を実施することができた。 児童館祭り、クリスマスコンサート、スプリングコンサートなどについて、コロナ以前のように地域の方に参加対象を広げる取り組みができた。</p> <p>【放課後児童健全育成】 学校教室タイムシェアのサテライト運営を開始した。対象学年を4年生から6年生とし、過ごし方について検討を重ねながら1年間運営にあたった。 長期休業中の運営に関しては子ども達が充実した1日を過ごせるよう、職員によるプログラム提供を工夫して行うことができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、児童クラブの卒業生や児童クラブが休みの児童が中心に自由来館を利用し遊びを通して交流している。6年目を迎えたボランティアグループ「ニシヤマセブン」は広報活動の成果で中学生の登録もあり、自転車活動等、館外の活動を積極的に行った。小学生の館外における自然体験プログラム「地球探検隊」のボランティアを始め、区の社会福祉協議会からの依頼で「ボッチャ体験」等、関係機関と連携した活動への参加が増加し「ニシヤマセブン」の活動が地域に根付いてきた事が実感できた年となり、地域における未来の担い手の育成に取り組んでいる。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、近隣に児童館が多いことから、利用者のニーズで児童館を選択しているという地域の状況があり、年齢別のプログラム等、多彩な内容を提供し、利用促進に努めている。「1・2のたいそうキッズ」はマットや平均台等の運動遊びの場を提供し乳幼児の健やかな心身の成長を育んでいる。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センター共催の乳幼児親子対象のお祭り、西山中学校吹奏楽部を招いてのコンサート、鶴・燕・西子育て支援ネットワークの情報交換会等、地域の方々や関係団体との交流を深め地域全体で子どもの育ちを支援している。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、夏休みにおいては子ども達が見通しを持って生活できる支援として本館、サテライト別の活動プログラムを作成していた。また保護者の支援と子どもが主体の昼食の取り組みとして、週1回カレー等の好きなレトルト食品を食べる日を設けており、子ども達の生活がより良いものとなるように創意工夫が見られた。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課